

経営比較分析表（令和3年度決算）

徳島県つるぎ町 つるぎ町立半田病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身
経営形態	診療科数	DPG対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	12	対象	ド透	救 臨へ 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
8,161	12,311	第2種該当	第2種該当	10：1

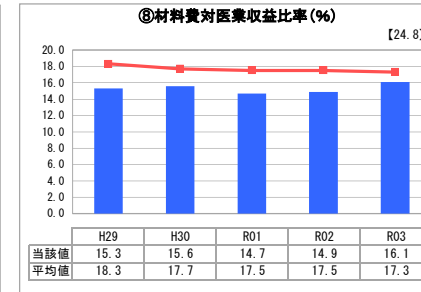
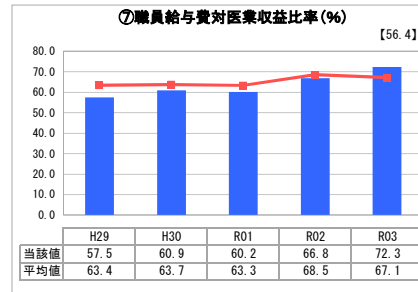
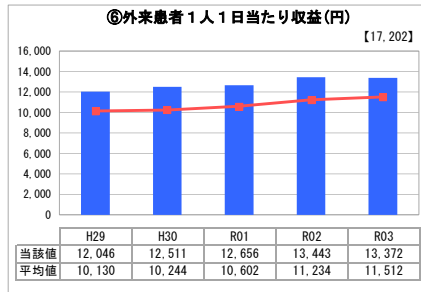
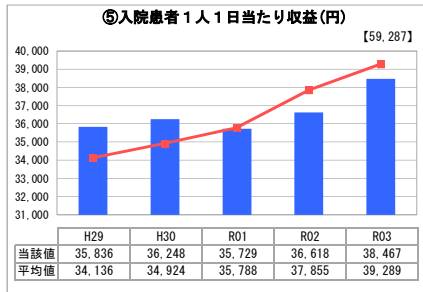
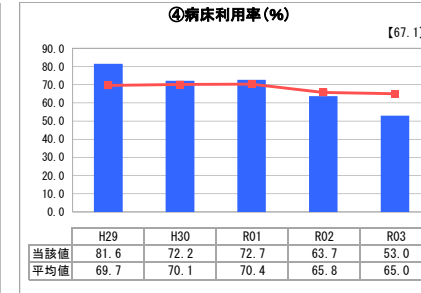
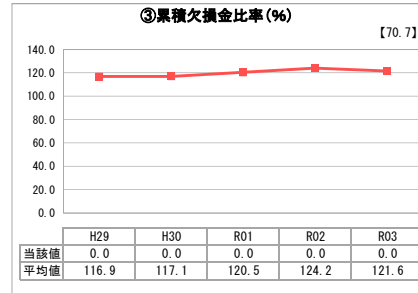
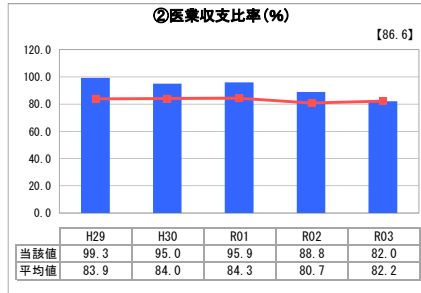
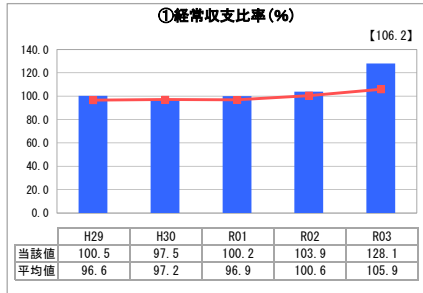
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

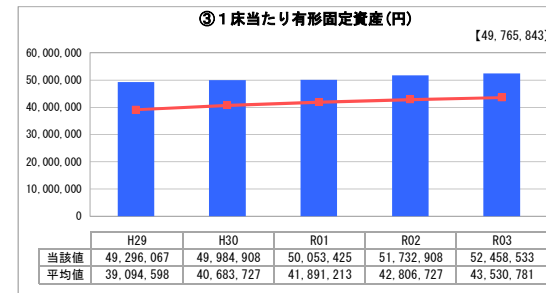
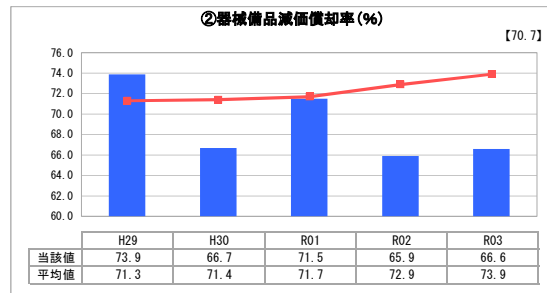
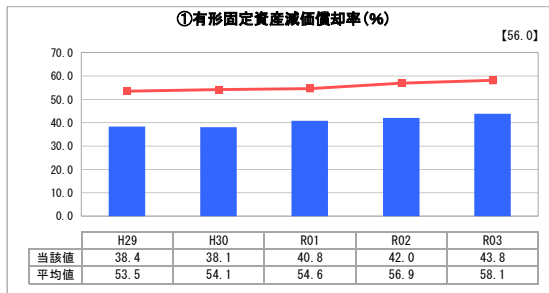
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
100	-	100

■ 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

徳島県西部医療圏における5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）、5事業（救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療）を担っている。特に、産科医療・小児医療・透析医療においては、当該地域において拠点となる医療機能である。また、感染症対応重点医療機関としても認定されることになり、その役割は地域のみならず、広域的なものとなっている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス感染症の影響を如実に受け、特に、感染症患者受入に伴う病床確保・入院制限の影響は、年度全期間に及んだことから、入院収益の大幅な減少に繋がった。これにより②医業収支比率、④病床利用率を大きく減少させた結果となったが、外来収益は増加傾向にあり、患者動向においては、回復の兆しが見て取れる。①経常収支比率においては、病床確保に要した経費としての補助金により、大幅な増加となっている。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率：施設全体としては、耐震化工事に伴う棟立替が大きく影響し、年数も経過しておらず、類似平均に比べ老朽化は進んでいない。
②器械備品減価償却率：前年度同様に感染症対策に伴う設備整備事業を活用し、器械整備を行ったことにより、比率は大きく減少している。ただ、整備を行った器械については、主に感染症対応に係る器械であり、今後においても引き続き計画的な医療器械の整備が必要である。

全体総括

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症がもたらした医療への影響は甚大なものとなった。前年度、一極集中した感染地域は徳島県全域に広がり、当院の感染症病床においても年間を通しての稼働であった。このような中、感染症重点医療機関として指定された役割を果たすため、国・徳島県と協働し、受入体制の整備・強化、そして、感染症対応と通常医療提供の高立に向け、体制構築に努めてきた。前年度からの教訓を生かしながら、両体制の構築については、ある程度確立できたものと考えている。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。